

和歌山県白浜町でツバメが二番目の巣を隣り合わせに作成

Shin KUBOTA : Swallow makes the second nest side by side in Shirahama Town,
Wakayama Prefecture, Japan

久保田 信

和歌山県西牟婁郡白浜町の牟婁の湯の入口に、何年も前からツバメが毎年巣をつくり、ヒナを育てあげている。2012年には、この場所では初めての事象となったが、同じ巣を使って同じ親が2回目のヒナを育てあげた（久保田, 2012）。



図1 和歌山県西牟婁郡白浜町に所在する牟婁の湯の入口の壁に隣り合わせで2017年に新たに作成された2番目のツバメの巣（ヒナ4羽が発育中）

今回、2017年に今までにない巣作りが見られたので報告する。上記の同一場所で、今迄と同じ巣を使い5羽のヒナを育て、4羽が無事に巣立った（1羽は落下し死亡：牟婁の湯の番台の方々への聞き取り）。ところが、その後、その同壁面の表側に、別の巣を別ペアが作成した。2017年8月5日の時点で、4羽のヒナが成長しているが、その内の1羽は他の3羽よりも小さい（図1）。この2番目の巣を以前からの巣を用いている親と血縁関係のある個体が作成したのかどうかは不明であるが、壁の表裏に隣り合わせに作成したのは今回が初めてである。

引用文献

久保田信, 2012: 和歌山県白浜町でツバメが巣を2度利用. くろしお, (31), 26.

(〒649-2211 西牟婁郡白浜町 459)
京都大学フィールド科学教育研究センター
瀬戸臨海実験所